

学習課題(小学校6年生)



【国語】

〈学習内容〉

◆「やまなし」(教科書 103～114 ページ) に取り組みます。

- (1) 「やまなし」を読み、初めて読んだ感想をノートや取組シートに書きましょう。また、初めて読んだ時点で、どのくらい作品を理解できたか「作品理解度」も「0～100%」で書いてみましょう。

※作品理解度は、「やまなし」について、どのくらい理解しているか、学習初めの状態を自分なりに数値で表してみる活動です。



物語に難しいところも出てきて説明できないところもあるから50%かな。

- (2) 「やまなし」の作品への理解を高めるために、「五月」と「十二月」で描かれている風景を、簡単な絵や図で表してみましょう。また、【資料】「イーハトーヴの夢」を読み、宮沢賢治の生き方や考え方について、ノートや取組シートに書きましょう。

五月

- ・ クラムボンについて
- ・ かわせみについて
- ・ 明るい・太陽



十二月

- ・ 泡について
- ・ やまなしについて
- ・ 暗い・月の光

「イーハトーヴの夢」から

- ・ 賢治は岩手を大切にしているんだ、そんなことまで…
- ・ 賢治はこんな理想をもっていたんだ！すごい！！

書いていることをもとに、それぞれの場面の絵を描いてみよう。
それぞれの場面がどんなイメージかな？

賢治の生き方や理想に重ねて「やまなし」をもう一度読んでみよう！！

- (3) 「独特な表現から受ける印象」「五月と十二月の対比」「題名から想像されること」「賢治の生き方や考え方をふまえて」など、観点を決め、くわしく読んだことをもとに考えをまとめ、ノートや取組シートに書きましょう。次のページの〈まとめ方の例〉も参考にしてください。

- (4) 126 ページの「たいせつ」を読みましょう。

※可能であれば、宮沢賢治が書いたほかの作品や、「この本、読もう」で紹介されている作家の作品を読み、構成や表現、その時代に感じる言葉などに着目して、作品の世界を味わってみましょう。

◆「みんなで楽しく過ごすために」で学習する予定の新出漢字（「論」～「紅」）を練習します。（読み方や書き順などは 302 ページに載っています。）

